

平成 24 年度

事業計画書

自 平成 24 年 4 月 1 日から

至 平成 25 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 広島県漁業振興基金

平成 24 年度事業計画書

（自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日）

I 基本方針

平成 20 年 12 月 1 日に公益法人制度改革三法が施行され、当基金は 23 年 1 月に県公益認定等審議会の答申を受け、23 年 4 月からは「公益財団法人広島県漁業振興基金」として再スタートした。

「公益財団法人広島県漁業振興基金」では定款の目的に明記したとおり、水産資源の維持増大、海洋環境の保全に関する事業を行うことにより、漁業関係者のみならず広島県民の方々に対しても水産物の安定供給と自然環境の保護に寄与することを大きな柱として、地域に貢献したいと考えている。

また、漁業者の高齢化、担い手不足、魚価の低迷、燃油の高騰など漁業を取り巻く経営環境は厳しく、経営体数の減少が続いている。水産物の安定供給を図るためにも経営体数の維持も必要であり、新規就業者の確保、既存漁業者の販売力の強化にも力を入れたいと考えている。

II 項目別事業計画

1 マダイ栽培事業

広島県中部海域のマダイ資源の維持増大を図るため、社団法人広島県栽培漁業協会がマダイ種苗 128 万尾を購入し、呉豊島漁協、大崎内浦漁協で中間育成を実施した後、県中部海域 7 か所の漁港内に放流し、港内で飼付けを行う。

(1) 中間育成事業

広島県栽培漁業協会が生産する 12 mm サイズのマダイ種苗 1,280 千尾を購入し、中間育成拠点（2ヶ所）で 50 日間程度中間育成を行い、平均 50 mm サイズに育成する。

育成拠点	筏台数 (生簀面数)	受入尾数 (千尾)	育成目標 (千尾)	育成日数 (日)	備考
呉豊島 漁協	4 (16)	640	288	50	
大崎内浦漁協	4 (16)	640	288	50	
計	8 (32)	1,280	576		

(2) 港内等飼付け事業

中間育成後のマダイ種苗 50 mm サイズを港内等に放流し、30 日間音響馴致及び飼付けを行い平均 80 mm サイズに育成する。また、豊浜町大浜地先、大崎上島町沖浦地先では沖合い給餌ブイにて引続き 120 日間音響給餌する。

飼付け場所	尾数 (千尾)	育成日数 (日)	備考
呉市豊浜町大浜地先	288	30	
呉市阿賀冠崎港	52	30	
大崎上島町沖浦港	50	30	
大崎上島町向山港	50	30	
竹原市忠海冠崎港	52	30	
尾道市瀬戸田町福田港	44	30	
三原市幸崎町能地漁港	40	30	
計	576		

(3) マダイ栽培推進事業

① 検討会の開催

事業計画や放流種苗配布のための検討会を開催し、事業の円滑な推進を図る。

2 栽培漁業推進助成事業

(1) 特定幼稚魚配布事業

ヒラメ、オニオコゼ、メバル、ガザミ、ヨシエビの資源増大を図るため、各地区水産振興協議会が広島県栽培漁業協会から購入する放流用種苗の斡旋と購入に要する経費の一部を助成する。

ア ヒラメ

地区	大きさ	数量(千尾)	配布時期	備考
広島	50mm	112.0	6/中~7/中	
呉芸南	〃	220.0	〃	
尾道	〃	38.0	〃	
福山	〃	44.0	〃	
計		414.0		

イ オニオコゼ

地区	大きさ	数量(千尾)	配布時期	備考
広島	30mm	36.0	8/下~9/下	
呉芸南	〃	99.8	〃	
尾道	〃	12.0	〃	
福山	〃	13.5	〃	
計		161.3		

ウ メバル

地 区	大 小	数 量 (千尾)	配 布 時 期	備 考
広 島	30mm	15.0	3/下	

エ ガザミ

地 区	大 小	数 量 (千尾)	配 布 時 期	備 考
広 島	4mm	310.0	5/中~7/上	大きさは甲幅
呉 芸 南	//	560.0	//	
	12mm	27.5	5/下~7/中	
尾 道	4mm	900.0	5/中~7/上	
福 山	12mm	160.0	5/下~7/中	
計		1,957.5		

オ ヨシエビ

地 区	大 小	数 量 (千尾)	配 布 時 期	備 考
呉 芸 南	25mm~28mm	16.5	8/中~8/下	
尾 道	12mm	260	8/上	
福 山	25mm~28mm	277	8/中~8/下	
計		554		

(2) 特定幼稚魚育成対策事業

各地区水産振興協議会が放流用種苗の中間育成に要する経費の一部を助成する。

ア ヒラメ

地	受 入		育 成 目		備 考
	大 小	(千尾)	大 小	(千尾)	
呉 芸 南	50mm	220	75mm~90mm	185	35日育成
尾 道	50mm	38	80mm	30	20日育成
計		258		215	

イ ヨシエビ

地 区	受 入		育 成 目 標		備 考
	大 小	(千尾)	大 小	(千尾)	
尾 道	12mm	260	25mm	200	14日育成
計		260		200	

(3) 地域定着型魚種栽培推進助成事業

ア メバル

豊竹東水産振興協議会が実施するメバルの種苗生産，中間育成事業に助成する。

事業内容 25 mmサイズ 30 万尾の種苗を生産し，30 日間中間育成する。
実施期間 平成 24～26 年度
参加機関 大崎上島町，竹原市，東広島市
大崎上島漁協，大崎内浦漁協，芸南漁協，安芸津漁協，早田原漁協
(社)広島県栽培漁業協会，(公財)広島県漁業振興基金

(4) 特定幼稚魚育成推進事業

種苗生産計画や種苗配布のための検討会を開催するなどして事業の円滑な推進を図る。

3 栽培漁業啓発推進事業

普及啓発資料の作成，並びに少年水産教室開催等に要する経費の一部を支出する。

4 栽培漁業研究開発事業

県内試験研究機関が栽培漁業に関する研究に対して要する経費の一部を助成する。

5 観光漁業助成事業

広島県観光漁業協議会が実施する観光漁業の振興に要する経費の一部を助成する。

主な内容 釣り場及び観光漁業案内等の広告宣伝，観光漁業サービスの研究と向上

6 組織強化支援事業

広島県漁業協同組合連合会が，国庫事業「漁協経営改善計画・県域再編計画策定事業」で示された県漁連，沿海漁協の組織的，経営的課題の改善策を基に取り組む「組織強化支援事業」に係る経費の一部を助成する。

事業実施期間 平成 23 年～27 年

7 漁業後継者等育成事業

(1) 就漁奨学金貸与

大学，高校に在学する漁業者の家族で卒業後漁業に就業しようとする者に対して奨学金を貸与する。

奨学生 若干名

(2) 漁業後継者研修事業

国，県，漁業団体等が主催する研修会等に参加する経費の一部を助成する。

(3) 新規就業者支援事業

県漁連が新規就漁希望者に対して漁業制度,関係法令に関する基礎講習,漁船に同乗し漁具の使用法や漁場把握方法などの研修を行う「水産業人材育成対策事業」の経費の一部を助成する。

8 瀬戸内ブランド販売支援事業

瀬戸内の海の幸の消費拡大を図るため,ブランド品の販売にかかる経費や漁業関係者グループや団体が朝市,イベント等を開催または参加する経費,インターネット販売に要する経費の一部を助成する。インターネットHP作成講習会を実施する。

科 目	予 算 額	前年度予算額	増減（△減）	備 考
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入				
特定費用準備資産取崩収入	17,500	18,000	△ 500	
投資活動収入計	17,500	18,000	△ 500	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
役員退任慰労金引当資産取得支出	1,160	1,160	0	
職員退職引当資産取得支出	185	185	0	
投資活動支出計	1,345	1,345	0	
投資活動収支差額	16,155	16,655	△ 500	
Ⅲ 予備費支出				
予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	△ 2,609	△ 2,210	△ 399	
前期繰越収支差額	2,905	3,331	△ 426	
次期繰越収支差額	296	1,121	△ 825	

注 1) 管理費は事業費配賦前の予算額を表示する。